

投稿

介護福祉士養成校の学生に話を聞く機会があり投稿させていただきました。

一つ目は、学生の中にはアルバイトで生計を立てている者も少なくありません。国からの学生に対しての給付金もありますし今は自粛が緩和されアルバイトが再びできるようにもなっていますが、実習1カ月前にはアルバイトが禁止になったりと、生活に対する不安も多いと思います。二つ目は現在、学生は就職活動中ですが、コロナ対策もあり自分の希望したいと思っている施設にボランティアに行くことができていないそうです。私は就活中のボランティアでいろんな施設に行き自分が働きたい施設をしっかりと考える事ができボランティアに行ってよかったという思いがあります。

何をしてあげたらいいのかは具体的には言えないのですが、10年前と比べると介護福祉士を目指そうとしてくれている学生が激減しているなか、頑張っで学んでくれている学生達に現役の私達が何かしてあげられることはないでしょうか？

養成校教員の声

①実習受け入れ不可の施設もあり、実習先確保に時間がかかっています。

学内の3密、ソーシャルディスタンスの配慮は当たり前なので、実技演習授業についての現況です。演習は、3ヵ月遅れで7月になってから開始しました。クラス分けをして1ベッド3人交代するたびに枕とシーツの上に学生持参のタオルを敷いて直接リネンに触れないようにし演習中もマスクは常時着用、使用した器材の消毒もこまめに実施します。実習室の窓は開放したままで教員はフェイスシールド着用で指導します。演習授業はクラス分けで人数制限をしているため授業時間が倍になり土曜日も授業日ですから教員の負担も倍増し心身共に疲労困憊です。この状況は9月以降も続くでしょう。

②今一番の問題は、介護実習に出られないという点です。（どの資格の養成も同じですが、出られない分学内実習を行っております。）介護福祉士になるためには、450時間以上の実習時間を終える必要があります。今回、施設、事業所等で感染対策で外部との接触を断たれていることは十分承知しております。今後、職場に入職してくる新人は、介護実習を十分受けられていないということをご理解いただき、同じ介護福祉士として職場に入職してからの教育、育ちをお願いしたいと思います。今まで以上の研修を計画していただきたい。また、このような利用者さんの生活を守る、自分自身のからだを守る、と厳しい時期かと思いますが、将来介護福祉士として活躍するための学びの場、介護実習をお受けいただきたいと思います。7月6日から、介護施設にご配慮いただき、2年生の実習が始まっております。全体的な動きはわかりませんが、事例にあったように学生も非常時として活動しています。奨学金の方もコロナ対応で支えてくれます。今だからできる学びを応援しているところです。

提案

介護現場だけでなく養成校での現状を知る良い機会となりました。実習1カ月前からアルバイト禁止、専門家による感染対策の実施など様々な視点からの予防策をとって実習に臨んでいます。その事実を我々介護福祉士が現場に発信していき、介護福祉士を目指す養成校の学生の実習やボランティアが受けやすくなるよう働きかけていくことが必要ではないでしょうか。さらに来年度新卒者採用後の育成の配慮も心に深くとめておいてほしいと思います。